

第2期福井市中心市街地活性化基本計画（素案）【概要版】

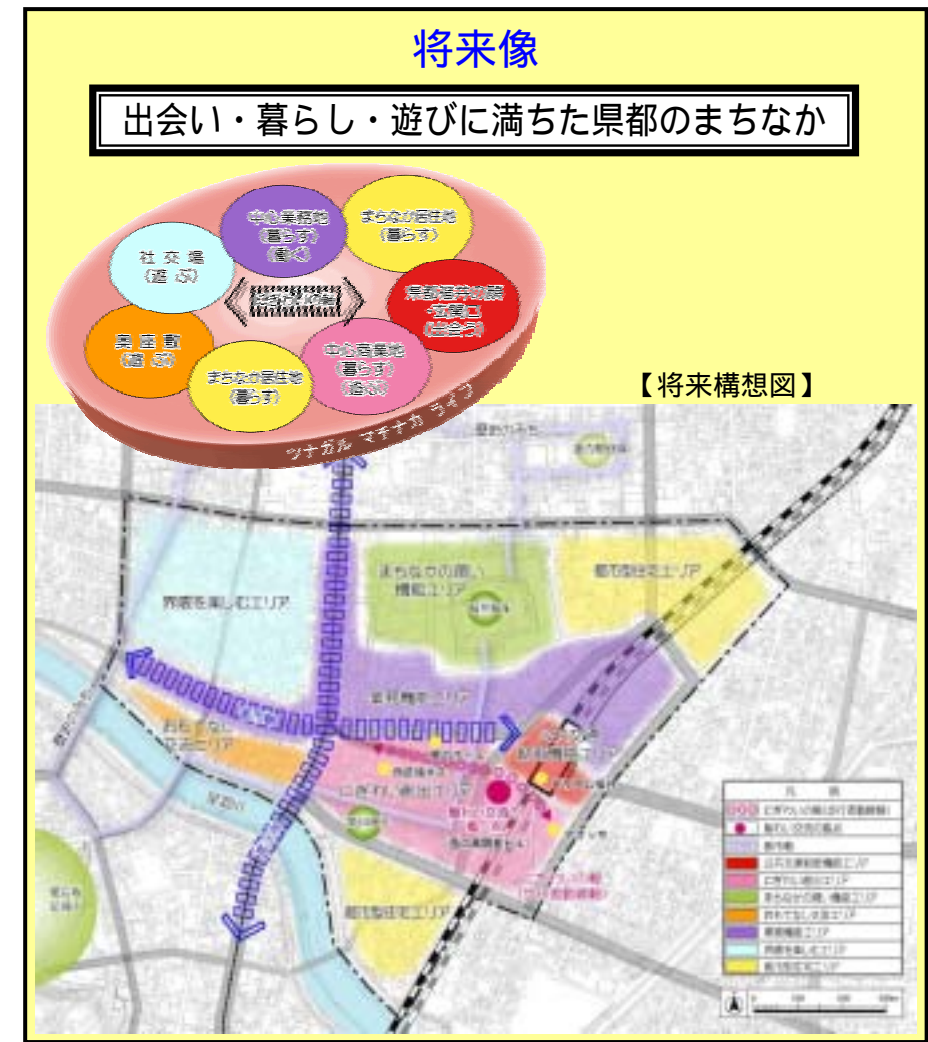
福井市の中心市街地は、歴史・文化・多様な都市機能(住宅、事務所、商業等)の集積地、さらに JR 福井駅を中心とした交通結節点であることから市内、県内及び県外どこからでも誰もが訪れやすい場所です。また、本市の面積 536.19k m²の 0.2%という狭い範囲で、土地の固定資産税の約 5.0%を占めるなど、まさに福井県、福井市及び市街地の中心であり、「県都の顔」といふべき場所です。

人口減少・超高齢社会の到来を迎え、先人達により数百年の歳月をかけて蓄積された投資と現在行われている中心市街地内での投資を活かし、市内外、県内外、国内外から多くの方々の誇りを持ってあたたかく迎える場として、次世代に引き継いでいくことが必要です。

過度に経営コストのかからない持続可能な都市として活力ある福井市を形成するためにも、市民(市民、市民組織、まちづくり会社、事業者)と行政が力を合せて中心市街地の活性化に取り組むことが重要です。

平成 30 年の福井国体や平成 37 年の北陸新幹線福井開業等将来を見据えて、これまで蓄積してきた中心市街地の活性化に向けた取組を途切れさせることなく継続し、活性化の効果をより確実なものとしていくため、第2期福井市中心市街地活性化基本計画を策定し、中心市街地の活性化に取り組めます。

上位計画
第六次福井市総合計画・都市計画マスタープラン



第1期福井市中心市街地活性化基本計画

取組の評価

評価できること

- ・福井駅西口・東口交通広場の暫定整備により、JRや高速バスなどの利便性の向上
- ・福井駅周辺土地区画整理事業により、駅東側の都心環状線沿いの建物更新が進み、福井駅周辺の景観が一新
- ・市民による文化活動等の場としての中心市街地の利活用
- ・病院跡地の大手専門学校の開校など、基本計画策定当初想定していなかった優良建築物の事業化等民間投資の実施

反省すべきこと

- ・県都の玄関口にふさわしい賑わい交流の拠点の未整備
- ・住宅の成約率の低迷
- ・福井駅西口の再開発事業の遅れや西口広場の未整備
- ・えちぜん鉄道の高架化の未着工

計画：76事業、完了：26事業、実施中：39事業

目標指標の達成状況

目標：訪れやすい環境をつくる(出会い)

目標指標：公共交通機関乗車数(鉄道一日平均)

基準値：13,592(H18)、目標値：15,300(H24)、最新値：13,742(H23)

目標：居住する人を増やす(暮らし)

目標指標：居住人口

基準値：4,474(H18)、目標値：5,200(H24)、最新値：4,330(H24)

目標：歩いてみたくなる魅力を高める(遊び)

目標指標：歩行者・自転車通行量(休日)

基準値：43,440(H18)、目標値：52,500(H24)、最新値：38,634(H24)

第2期計画に向けた課題

課題 来街者の目的となり、交流が生まれる環境整備

- ・県都の玄関口として福井の魅力発信・創造し、人が交流する場の整備
- ・アクティブスペースをはじめ、活発な交流が繰り広げられるようなイベント空間の充実
- ・中心商業地にふさわしい商業環境の魅力向上
- ・まちなか居住の環境向上のための生活利便施設の充実
- ・中心市街地における就業場所の充実
- ・中心市街地の歴史や文化を生かした景観整備の推進

課題 官民が連携して、それぞれの役割を果たすことによる活性化の推進

- ・中心市街地活性化の進行管理
- ・市民活動の育成
- ・中心市街地の魅力的な情報発信

課題 第1期計画に掲げた事業のさらなる推進

- ・交通結節機能強化のためのJR福井駅周辺整備(西口駅前広場の整備、えちぜん鉄道の高架化)
- ・賑わい交流の拠点整備のための福井駅西口の再開発事業の推進
- ・まちなか居住施策の充実

第2期計画の基本的な方針

区域：105.4ha 計画期間：平成25年4月～平成30年3月(5年間)

第2期基本計画の基本的な方針

- 方針 **出会う** 観光客・来街者の行き交い、おもてなしなどいどりを整える
- 方針 **暮らす** 魅力ある住まい、生活、働く環境を充実する
- 方針 **遊ぶ** 歩きたくなる素敵な境界形成と多様な余暇活動の舞台として演出する

市民活動の力を活かす

官民協働ですすめる

第2期基本計画のテーマ

官民協働のまちなかにぎわいステージづくり

～時めきと煌めきに満ちた持続性のあるまちを
ともにつくり育てる～

方針 出会う 「観光客・来街者の行き交い、おもてなしなどいどりを整える」

JR福井駅を中心とする中心市街地は、北陸新幹線の福井延伸が決まり、福井県嶺北地域一円からだけでなく、関東や信越方面からも直接来ることができる立地特性を有することになり、県都の玄関口として、ますます重要な位置づけを持つこととなります。このことを踏まえ、以下のように展開します。

【行き交いのいどりを整える事業の展開】

誰もが移動・行動しやすい中心市街地の交通環境を確保し、行き交いのいどりを整えるため、以下の事業を展開します。

- ・東西市街地の一体化や骨格道路のネットワークの強化など都市構造の再編・強化
- ・鉄道やバス等相互乗り換えの利便性向上に向けた交通結節機能の強化
- ・利用促進に向けた公共交通サービスの向上
- ・まちなかで気軽に移動できる自転車利用環境の向上

【おもてなしのいどりを整える事業の展開】

おもてなしのいどりを整えるため、以下の事業を展開します。

- ・福井らしさを創造・発信・体感できる賑わい交流の拠点の形成
- ・福井の魅力を発見できるまちなか観光資源の魅力向上
- ・来街者をもてなすコンシェルジュサービスの充実



方針 暮らす 「魅力ある住まい、生活、働く環境を充実する」

中心市街地における居住・生活環境の維持・増強や就業環境の充実、地域コミュニティの維持はもちろんだ、中心商業地の機能存続や魅力の再生を図る上でも重要な要素です。このことを踏まえ、以下のように展開します。

【魅力ある住まいの環境を充実する事業の展開】

魅力ある住まい環境の充実に向けて、以下の事業を展開します。

- ・居住ニーズに柔軟に対応するための既存ストックの有効活用
- ・居住環境の改善に向けた建替え居住の促進
- ・コミュニティの維持、強化に向けたまちなか居住に対するPRの強化

【魅力ある生活の環境を充実する事業の展開】

中心市街地での魅力ある生活環境を充実するため、以下の事業を展開します。

- ・生活利便性の向上をはじめとした中心商業地の機能の充実
- ・住み続けたいと思えるような暮らしやすさを支える基盤施設の充実

【魅力ある働く環境を充実する事業の展開】

中心市街地での就業環境を充実し、魅力ある働く環境を充実するため、以下の事業を展開します。

- ・企業立地を促進し、働く場としての受け皿の充実や魅力向上



活性化のための主な事業			
展開の方向性		第1期からの継続事業（：強化・発展する事業）	第2期の新規事業
行き交いのいどりを整える	都市構造の再編・強化	えちぜん鉄道の高架化 福井駅周辺土地区画整理事業での道路整備	
	交通結節機能の強化	福井駅周辺土地区画整理事業での西口広場整備	バスターミナル旅客案内・待合施設整備事業 西口広場発着のバス路線再編成 西口広場でのバスロケーションシステム整備
	公共交通サービスの向上	すまいるバスの利用促進 公共交通に利用可能なICカードの導入(バス・電車) パークアンドライドの利用促進	福井鉄道の軌道・電停等整備 まちなかフリー切符の導入
	自転車利用環境の向上	JR福井駅南側での自転車駐車場整備	分散型駐輪場の整備 サイクルシェア事業(社会実験)
おもてなしのいどりを整える	賑わい交流の拠点の形成	西口再開発事業	西口再開発での観光関連施設整備
	まちなか観光資源の魅力向上	福井市観光キャンペーン事業	お堀のライトアップに合わせたイベントの開催 福井城址周辺の環境整備
	コンシェルジュサービスの充実		回遊性の向上に向けた案内サインの設置 観光おもてなし力向上研修の実施

活性化のための主な事業			
展開の方向性		第1期からの継続事業（：強化・発展する事業）	第2期の新規事業
魅力ある住まいの環境を充実する	既存ストックの有効活用の促進		(仮称)戸建て住宅等リフォーム補助 (仮称)共同住宅のリフォーム補助
	建替え居住の促進	中心市街地共同住宅誘導事業 西口再開発事業	隣地土地の購入支援 (仮称)二世帯型戸建て住宅建設補助 (仮称)共同建て住宅建設補助 (仮称)優良な賃貸住宅の建設・家賃補助
	まちなか居住に対するPRの強化	まちなか居住を推進するためのイベント活動によるPR	
魅力ある生活の環境を充実する	中心商業地の機能の充実		個店が連携して行う共同販売の促進 ご当地グルメの発信 ふくい商業者魅力アップの支援
	暮らしやすさを支える基盤施設の充実	いきいき長寿「よろず茶屋」の運営	日之出公園の整備 ビル等の熱環境改善対策助成
魅力ある働く環境を充実する	働く場としての受け皿の充実や魅力の向上		オフィス等立地促進

方針 遊ぶ 「歩きたくなる素敵な界隈形成と多様な余暇活動の舞台として演出する」

本市の中心市街地は、鉄道駅に近接し、自動車や自転車、公共交通機関などの多様な交通手段で、人が集まることができる立地特性を有しています。

この特性を活かしながら、歩きたくなる魅力的な空間づくりと、市民を主体とした様々な活動を支援し、中心市街地におけるにぎわいを創出するために、以下のように展開します。

【歩きたくなる素敵な界隈形成を推進する事業の展開】

にぎわいの軸や浜町界隈をはじめ、中心市街地全体の歩きたくなる素敵な界隈形成を推進するため、以下の事業を展開します。

- ・歩行空間と沿道の店舗等が一体となった洗練された魅力的な空間形成
- ・若者によるまちなかへの出店、積極的な企業支援による新たな魅力の創造
- ・継続的ににぎわいの舞台づくりの推進

【多様な余暇活動の舞台として演出する事業の展開】

長い時間楽しむことができる多様な余暇活動の舞台を演出するため、以下の事業を展開します。

- ・市民や来訪者による多様な交流を育むまちなか交流施設の整備
- ・既存イベントの活性化や、新たなイベントの開催など、にぎわいを生むイベントの展開
- ・官民が連携した効果的なPRと情報発信



活性化のための主な事業

展開の方向性		第1期からの継続事業（：強化・発展する事業）	第2期の新規事業
歩きたくなる素敵な界隈形成を推進する	魅力的な空間形成	福井駅前北大通り商店街アーケード整備事業(2期) 福井駅前南通り商店街アーケード整備事業(2期) 浜町おもてなし空間づくり 景観形成の支援 夜景を活かした魅力あるまちづくり事業	花いっぱい運動推進事業 西口広場での大庇(おおひさし)・モニュメント設置 駅周辺の道路整備 順化地区融雪設備の更新
	新たな魅力の創出	中心市街地チャレンジ開業支援事業 商店街等地域密着サービスづくり支援事業 起業家支援セットメニュー	
	継続的ににぎわいの舞台づくり		県都づくり推進事業
多様な余暇活動の舞台として演出する	まちなか交流施設の整備	コンベンション開催の促進 NPO支援センターの運営	西口再開発でのボランティアセンター、屋根付き広場、プラネタリウム整備 郷土歴史博物館の魅力向上
	にぎわいを生むイベントの展開	まちなか活性化交流イベントの実施 賑わい創出事業 中心市街地文化活動推進 アクティブスペースの利用促進 中心市街地文化活動推進	福井市夏休み子ども文化祭開催事業 出張！ボランティアセンター
	効果的なPRと情報発信	情報化推進事業 アートでまちなか文化発信事業 快適なまちづくりを推進するためのアドバイザー派遣	まちづくりセンター整備運営 文化情報発信事業 越前・若狭のさかな販売力強化支援事業 中心市街地活性化基本計画プロモーション事業

目標・目標指標・数値目標

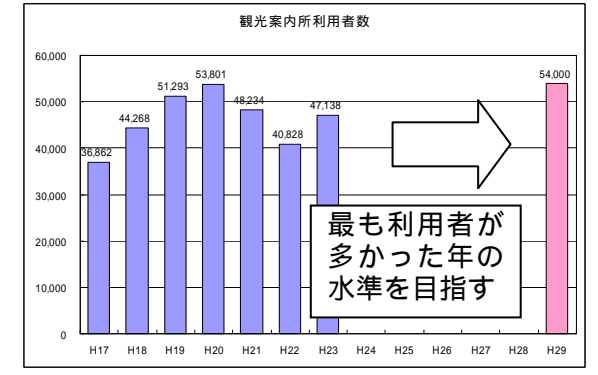
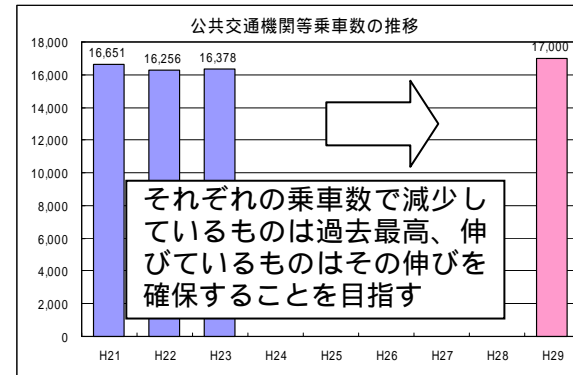
目標 出会う人を増やす

目標指標：公共交通機関乗車数(人/日)
(JR、えちぜん鉄道、福井鉄道、京福バス、すまいるバス)

目標指標：観光案内所利用者数(人/年)

数値目標：16,378人/日 (H23) 17,000人/日 (H29)

数値目標：47,138人/年 (H23) 54,000人/年 (H29)



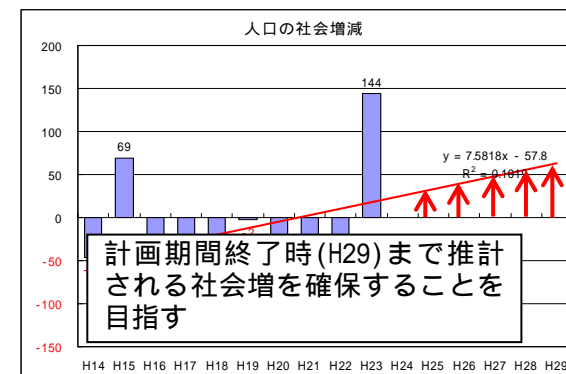
サブ指標： 駐車台数

サブ指標： ホテル稼働率
観光買い物客数

目標 暮らす人を増やす

目標指標：人口の社会増減数

数値目標： 194人減 (H14~H18) 33人増 (H19~H23) 240人増 (H25~29)

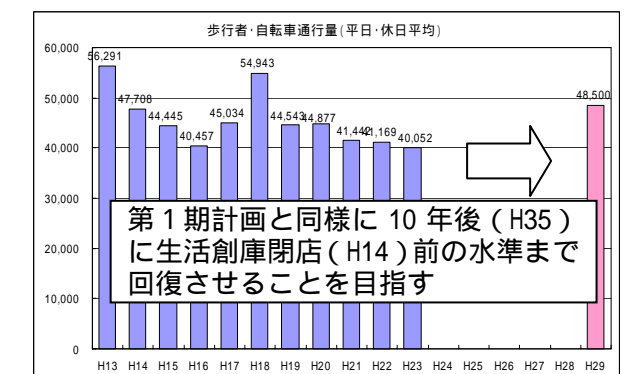


サブ指標： 住宅供給戸数
空き店舗率
県・市来庁者数
事業所数
昼間人口

目標 遊ぶ人を増やす

目標指標：歩行者・自転車通行量(人/日)
(平日・休日の平均)

数値目標：40,052人/日 (H23) 48,500人/日 (H29)

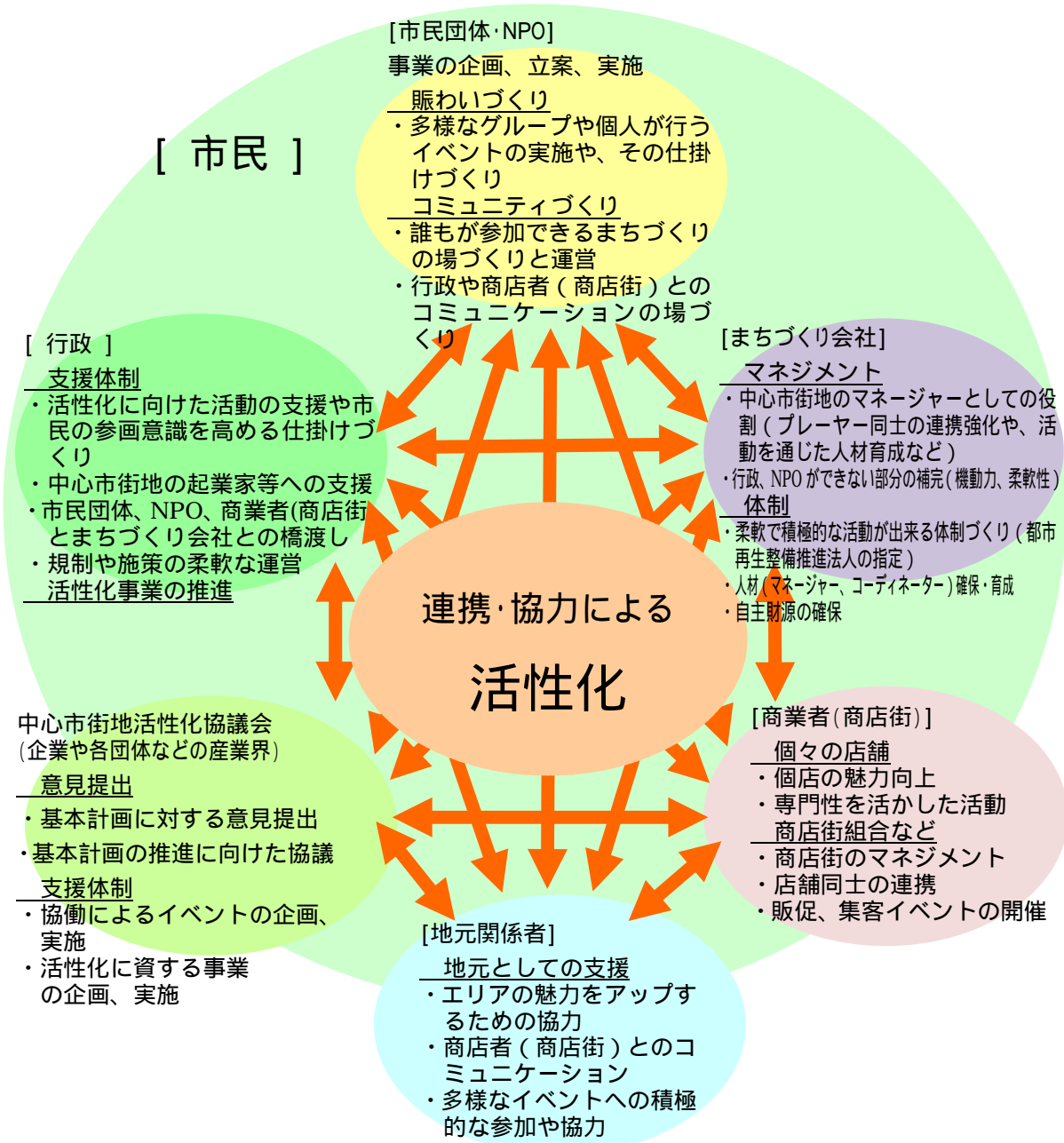


サブ指標： 歴史・文化・レクリエーション系施設の入込数
景観支援件数
まちなか好感度・素敵度
中心市街地で開催されるイベント数等

中心市街地活性化のための推進体制

推進体制

事業者（商店街）、まちづくり会社、市民団体・NPO、行政、中心市街地活性化協議会（企業・経済界）、地元関係者すべての組織が連携協力しながら中心市街地の活性化を推進



【専門家会議の設置】

第2期福井市中心市街地活性化の推進及び基本計画の評価にあたり、これまでの中心市街地活性化推進本部会議に加え、第2期基本計画策定に際し設置した原案作成ワーキングを発展させた専門家会議を設置します。

専門家会議では、中心市街地活性化のための総合的な協議やSPDサイクルに基づく事業内容の評価を毎年行います。

：SPDサイクルは、評価・改善（See）、計画（Plan）、実行（Do）のマネジメントサイクルを表しています。